

全国各支部で局長交渉実施

増員、業務執行体制で追求



NO. 292
2017. 4. 13

発行
国土交通省管理職
ユニオン
所在地
東京都千代田区霞ヶ
関 2-1-2 中央合同庁
舎 2 号館
TEL 03-3509-1138
Eメール
k-union@alpha.ocn.
ne.jp
ホームページ
http://www.k-union.
network/

各支部の交渉実施状況

北陸支部	2016.12.14
東北支部	2017.1.25
中部支部	2017.1.26
四国支部	2017.1.31
関東支部	2017.2. 3
地近支部	2017.2. 3
畿支部	2017.2. 7
九州支部	2017.2. 8
中国支部	2017.2.24

上位級拡大に努力 北陸支部

①「要員確保」については、増員に最大限努力していきたい。」
②「管理職特勤未支給について」

ユニオンの各支部では、昨年12月から今年2月にかけて局長交渉を実施しています。今号では、各支部で行われた交渉の概要を報告します。特に、次の3点の項目について各地整当局の特徴的な回答をお知らせします。
①業務執行と増員 ②テックフォース、管理職特勤手当等 ③処遇改善関係

て、「在宅でも危機管理マニュアル通りの対応をしている。それは業務だと認められていなければならない。」「電話と電話の合間の時間を踏まえて、その必要性について検討していく」と回答。③5級昇格該当者の追及に「5級昇格の追及にはお答えできない。」「そういう話をこれまでもお聞きしている。処遇改善に努力していく。」「と回答。更に支部は、5級昇格は管理職昇任と同時に発令することを強く求め、当局は、「上位級拡大に努力していく。」「と答えました。

①「要員の確保につきましては、地方整備局として色々な工夫をして業務執行の一層の簡素合理化を図るとともに、今後とも必要な要員の確保に努力しなければならぬ」という考えに変わりはなく、引き続き一人で多くという気持ちで地方整備局の業務の実態、重要性、厳しい定員事情などを十分説明するなど適切に対応していく。」

②「テックフォースの問題。私も色々な問題意識を持っていきます。皆様に命を下さいと命令するわけですから、少しでも前に改善できるような努力



金子委員長



▲支部三役（中央）加藤委員長

ユニオンに加入を希望される方
下記アドレスに「氏名・所属」をメールください。
後ほど担当支部から連絡させていただきます。
k-union@alpha.ocn.ne.jp

問題意識を持っている （テックフォース） 東北支部

東北支部

定員内での工夫にも限界 中部支部

中部支部

①「現定員内での工夫にも限界がある。組織としてどうしていくのかを考えると、それはならない。問題意識は一緒。皆さんにも協力してもらわなければならない。」
②「加重取締捕事件について」「大事な指摘だと思ってる。（逮捕者の）個人的な問題もあるが、仕事のやり方や体制も検証が必要。現状に即した実行可能な対応を考えていきたい。」
③「管理職の職務の大変さ

したい。本省ではテックフォースの手当について業務の特殊性、困難性、を考慮して、手当の支給を検討している。人事院の方に要望している。聞いている。本省としても問題意識を持って対応していると聞いています。」
③「職員の処遇につきましては、これも大変重要な課題と認識している。相手のあることではあるが皆様の要望は念頭において全体として良くしていくという気持ちで努力していく。」

今がベストとは思っていない 四国支部

四国支部

①「人が足りない」との話は聞いています。要員を確保する努力はしているが難しい。新規採用は、それなりの数は確保しているが平成28年度よりは少し少ない見通し。しっかりと取り組んでいきたい。」
②「（管理職特勤は）「四国では平日・深夜の例は聞いていない。臨時・緊急の場合は、在宅のケースはある」と云っている。個々のケ



に処遇が伴っていないという気持ちは解る。少しでも良くするよう努力する。」「皆さんの問題意識は解った。皆さんが矛盾に思うところを改善できるように、こちら問題意識を持って努力する。」「個別のことは言えないが、私もよく観る。」



空きポストは 問題意識ある

関東支部

①「要員確保に最大限努力する。地整全体のある方も含め、適切に配置していく。空きポストについては、問題意識はある。不要なポストとは考えていない。業務が多様化複雑化している事については承知している。」



「又で判断する。絶対職場に居ることが条件ではない。テックフォースの負担については聞いています。今のものがポストとは思っていない。休日の移動も平日に移動する様に配慮している。工夫できることは工夫している。なにがしかの手当が出せないか本省に要望している。本省は、人事院に話をしていく。」

③「級別定数、在級年数等の制度上のハードルもある。これからも努力していく。人事評価、当局の考え方もある。昇任昇格には、ポストの関係もある。退職時6級の要求があるのは承知している。」

ユニオンの努力は承知している

地理支部

①「定員情勢は、きわめて厳しい。時限的増として、撮影係が認められた。これまで以上に努力している。関係機関へ業務の効率化と防災業務の重要性を訴えて、必要な要員確保してまいりたい。」

②「27年度から災害の地方指定行政機関として、法的に位置づけされた。地理空間情報活用基本法で、地方行政組織の窓口とし自治体の協力関係が重要なこととして進める。このような



意見も含め、上部機関に伝える。」

②「仕事の問題では、入契については、簡素化を図っている。引き続き改善していく。パワハラに関しては、あつてはならない。風通しの良い職場が大事。」

③「上位級の確保、級別定数の改善に努めていきたい。全体として良くなるようにしていきたい。」

勤特職管理は適正に判断

近畿支部

①「正常な労働関係の維持、使関係の維持、待遇改善、要員確保に精一杯努力する。」

②「(管理職特勤は)「深夜、大変ご苦労をいただいていることを聞いた。事実を認め、」制度上支給できない事にはなっていない。」とし、今後は「事案毎に、適正に判断していきたい。」



業務は地方測量部で担ってもらう。」

③「29年度組織では6、7Cの切り上げが認められた。ユニオンが各所で努力しているのは承知している。院として各級の職責評価できるように、今後とも取り組んでいきたい。地測の管理職を始め職員の処遇改善については上位級拡大のため職務の重要性を説明して、できるだけのことをやっている。また、指摘された地測の状況は承知しているので職員の処遇は全体として良くしていきたい。」

熊本は時限増員で配置

九州支部

①「定員は大変だと考えている。努力はしてきた。九州の実状は、色々なところ増やしていかないと考えられている。一旦アウトソーシングした業務は元には戻らない。」

②「本省には必要性を訴えているが合理化もあり純増にはなっていない。」

③「熊本の時限増員はある。定数は言えない。」と回答。

④「テックフォースについて(「H28年4月1日付で省令で位置づけられ、組織細則に反映された。(本局に)緊急災害対策調整官が新設され、中心となって向上を検討していく。」

③「個別案件については答



(「テックフォースは)「長時間勤務や派遣後の残務整理など問題意識は十分持っている。既存の枠組みでは難しいが、実情・実態を本省に伝えていく。」と問題意識を示しました。

過大な業務とならないよう

中国支部

①「厳しい定員事情の中、一人でも多くの姿勢に変わりはない。職員の一人当たりの業務量が過大とならないよう考えていきたい。」

②「(休日当番制は)「現行制度では、業務命令には当たらないが、危機管理の重要性で、ご協力頂いている。ご指摘は承った。」

③「処遇改善は重要な課題であり、全体として良くなるよう引き続き、級別定数の要求や有効活用を図る。」



えられないが、強い要望がある事は承った。処遇改善は重要な事柄で有り、今後引き続き、全体として良くなるよう努めていく。」



第二〇回定期全国大会召集

国交管ユニオン規約第十条及び議事運営細則第二条に基づき、第二〇回定期全国大会を召集します

日時 二〇一七年 五月二七日(土) 五月二八日(日)

場所 豊橋市神野新田町
ホテルシーパレスリゾート
ミノ割1の3

議題 ①二〇一六年度運動の総括及び二〇一七年度運動方針(案)
②二〇一七年度財政方針(案)
③二〇一六年度会計監査報告

二〇一七年四月一三日
中央執行委員長 神野 隆司

二〇一七年度中央諸役員の立候補受付

役員任期満了に伴い、二〇一七年度中央諸役員の選出をおこなうので、左記のとおり立候補受付を公示します。

一、役員と定数
国交管ユニオン規約第二四条による

二、立候補の締切日
二〇一七年五月二八日

三、選挙
二〇一七年五月二八日に大会代議員の投票により行う

四、立候補の届出
立候補する者は中央選挙管理委員長宛に届け出ること。
届出先は国交管ユニオン中央本部まで。
二〇一七年四月一三日
中央選挙管理委員長